



平成30年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年11月10日

上場会社名 株式会社セブン銀行 上場取引所 東
 コード番号 8410 URL <http://www.sevenbank.co.jp/>
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）二子石 謙輔
 問合せ先責任者（役職名）執行役員企画部長（氏名）竹内 洋 (TEL) 03-3211-3041
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日 配当支払開始予定日 平成29年12月1日
 特定取引勘定設置の有無 無
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有（アナリスト、機関投資家向け）

（表示単位未満切捨て）

1. 平成30年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

(1) 連結経営成績 (%表示は、対前年中間期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期中間期	62,279	1.7	19,898	4.1	13,602	4.7
29年3月期中間期	61,202	1.9	19,110	0.9	12,989	1.9

(注) 包括利益 30年3月期中間期 12,808百万円(23.9%) 29年3月期中間期 10,336百万円(△20.7%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期中間期	11.41	11.39
29年3月期中間期	10.90	10.88

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期中間期	988,390	205,850	20.7
29年3月期	957,792	199,081	20.7

(参考) 自己資本 30年3月期中間期 205,295百万円 29年3月期 198,525百万円

(注) 「自己資本比率」は（期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末非支配株主持分）を期末資産の部合計で除して算出してあります。なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	4.25	—	4.75	9.00
30年3月期	—	4.75	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	4.75	9.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	130,800	7.5	38,600	5.1	26,400	5.1	22.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 —社（社名）— 、除外 —社（社名）—

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期中間期	1,191,528,000株	29年3月期	1,191,528,000株
② 期末自己株式数	30年3月期中間期	896,328株	29年3月期	128株
③ 期中平均株式数（中間期）	30年3月期中間期	1,191,293,135株	29年3月期中間期	1,191,335,380株

(注) 当社は、平成30年3月期中間期より役員報酬BIP信託及び株式付与ESOP信託を導入しており、当該信託が保有する当社株式を、期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数に含めております。

(個別業績の概要)

1. 平成30年3月期第2四半期（中間期）の個別業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

(1) 個別経営成績 (%表示は、対前年中間増減率)

	経常収益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期中間期	58,186	2.3	21,507	7.0	14,808	7.2
29年3月期中間期	56,841	2.7	20,089	1.3	13,808	4.4
	1株当たり 中間純利益					
					円 銭	
30年3月期中間期					12.43	
29年3月期中間期					11.59	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
30年3月期中間期	988,795		208,474		21.0	
29年3月期	955,644		199,602		20.8	

(参考) 自己資本 30年3月期中間期 207,941百万円 29年3月期 199,069百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権)を期末資産の部合計で除して算出しております。
なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 平成30年3月期の個別業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通 期	117,000	3.4	41,000	5.3	28,300	5.3	23.76	

※ 中間決算短信は中間監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・当社は、特定事業会社（企業内容等の開示に関する内閣府令第17条の15第2項に規定する事業を行う会社）に該当するため、第2四半期会計期間については、中間連結財務諸表及び中間財務諸表を作成しております。
- ・本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

【添付資料】

目 次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. 中間連結財務諸表	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
(3) 中間連結株主資本等変動計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(追加情報)	9
(重要な後発事象)	10
3. 中間財務諸表	11
(1) 中間貸借対照表	11
(2) 中間損益計算書	12
(3) 中間株主資本等変動計算書	13

※ 当社は、以下の通り投資家向け説明会を開催する予定です。
説明会の動画、主なQ&A等については、開催後当社Webサイトに掲載する予定です。

平成29年11月13日（月） アナリスト・機関投資家向け決算説明会

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

・当期間の経営成績

わが国の景気は、個人消費が依然として先行き不透明な状況が続いておりますが、所得から支出への前向きの循環メカニズムが働くもとの、穏やかに拡大しております。また金融面では長期金利から中長期の予想物価上昇率を差し引いた実質長期金利はマイナスで推移するなど、きわめて緩和した状態にあります。

こうした環境の下、当中間期の当社連結業績は、経常収益62,279百万円、経常利益19,898百万円、親会社株主に帰属する中間純利益13,602百万円となりました。

なお、セブン銀行単体では、経常収益58,186百万円、経常利益21,507百万円、中間純利益14,808百万円となりました。ATM設置台数の増加による総利用件数の伸長等により前年同期比で増収増益となりました。

(経営成績)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間	前年同期間比
経常収益	61,202	62,279	1.7%増
経常利益	19,110	19,898	4.1%増
親会社株主に帰属する 中間純利益	12,989	13,602	4.7%増

サービス別の概況は、以下の通りであります。

①セブン銀行ATMサービス

当中間期も、セブン&アイHLDGS.のグループ各社(以下、「グループ」という)内外へのATM設置を積極的に推進したこと等により、ATMをご利用いただくお客さまの利便性向上に努めました。

ATMサービスをより充実させるため、新しいカテゴリーのATM利用提携先を拡大しております。当中間期では、新たにソフトバンク・ペイメント・サービス株式会社と提携いたしました。この結果、当中間期末現在の提携金融機関等は、銀行124行、信用金庫261庫、信用組合129組合(注1)、労働金庫13庫、JAバンク1業態、JFマリンバンク1業態、商工組合中央金庫1庫、証券会社12社、生命保険会社8社、その他金融機関等52社(注2)の計602社(注3)となりました。

ATM設置については、グループ内では、セブン-イレブン店舗の新規出店に合わせて展開し、順調に台数を伸ばしました。一方、グループ外では、お客さまのニーズに応える形で交通・流通・観光の各施設への設置を引き続き積極的に実施しております。

以上の取り組みの結果、ATM設置台数は23,873台(前期末比2.1%増)となり、総利用件数は409百万件(前年同期間比1.9%増)と推移いたしました。

- (注) 1. 平成29年9月末の提携信用組合数は、前期末(130組合)から提携解消により1組合減少し、129組合となりました。
2. 平成29年9月末のその他金融機関数は、前期末(50社)から新規提携により2社増加し、52社となりました。
3. JAバンク及びJFマリンバンクについては、業態としてそれぞれ1つとしております。

②セブン銀行金融サービス

平成29年9月末現在、個人のお客さまの預金口座数は1,752千口座(前期末比3.6%増)、預金残高は4,013億円(同1.1%増)、個人向けローンサービスの残高は220億円(同11.3%増)となりました。

海外送金サービスは契約口座数、送金件数ともに増加し、当中間期の送金件数は521千件(前年同期間比9.6%増)となりました。

③連結子会社

北米における当社連結子会社のFCTI, Inc.の平成29年6月末現在のATM台数は5,674台となりました。FCTI, Inc.の連結対象期間(平成29年1～6月)の業績は、経常収益35.9百万米ドル、経常利益△7.6百万米ドル、中間純利益△4.9百万米ドルとなりました。また、平成29年8月より、米国セブン-イレブン店舗へのATM設置を開始しております。

インドネシアにおける当社連結子会社のPT. ABADI TAMBAH MULIA INTERNASIONALの平成29年6月末現在のATM設置台数は128台となりました。現在は、現地金融機関からのATM運営受託拡大に努めております。

国内における当社連結子会社の株式会社バンク・ビジネスファクトリーは、当社からの事務受託に加え、他金融機関等からの事務受託事業を展開し、平成29年9月末時点の外部事務受託先は6社となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

総資産は、988,390百万円となりました。このうちATM運営のために必要な現金預け金が674,327百万円と過半を占めております。この他、主に為替決済、日本銀行当座貸越取引の担保等として必要な有価証券が68,549百万円、提携金融機関との一時的な立替金であるATM仮払金が147,594百万円となっております。

負債は、782,540百万円となりました。このうち主なものは預金であり、その残高(譲渡性預金を除く)は614,980百万円となっております。なお、個人向け普通預金残高は253,166百万円、定期預金残高は148,179百万円となっております。

純資産は、205,850百万円となりました。このうち利益剰余金は140,036百万円となっております。

(財政状態)

(単位:百万円)

	前連結会計年度	当中間連結会計期間	増減
総資産	957,792	988,390	30,598
負債	758,710	782,540	23,829
純資産	199,081	205,850	6,768

(3) 業績予想に関する定性的情報

現時点では平成29年5月12日発表の業績予想に変更はありません。今後、何らかの変更がある場合には、適切に開示してまいります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当中間連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
現金預け金	694,588	674,327
有価証券	77,866	68,549
貸出金	19,829	22,078
外国為替	—	0
A T M仮払金	89,286	147,594
その他資産	15,064	16,664
有形固定資産	25,740	23,314
無形固定資産	34,473	34,786
退職給付に係る資産	183	216
繰延税金資産	790	889
貸倒引当金	△30	△32
資産の部合計	957,792	988,390
負債の部		
預金	571,510	614,980
譲渡性預金	800	1,190
コールマネー	10,000	—
借入金	10,000	10,000
社債	110,000	80,000
A T M仮受金	37,763	56,773
その他負債	16,992	18,385
賞与引当金	471	424
退職給付に係る負債	1	1
役員退職慰労引当金	—	0
株式給付引当金	—	50
繰延税金負債	1,170	733
負債の部合計	758,710	782,540
純資産の部		
資本金	30,572	30,572
資本剰余金	30,554	30,554
利益剰余金	132,093	140,036
自己株式	△0	△380
株主資本合計	193,221	200,784
その他有価証券評価差額金	217	320
為替換算調整勘定	5,012	4,109
退職給付に係る調整累計額	73	81
その他の包括利益累計額合計	5,303	4,511
新株予約権	533	533
非支配株主持分	22	21
純資産の部合計	199,081	205,850
負債及び純資産の部合計	957,792	988,390

（2）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日）	当中間連結会計期間 （自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日）
経常収益	61,202	62,279
資金運用収益	1,369	1,652
（うち貸出金利息）	1,291	1,591
（うち有価証券利息配当金）	18	10
役務取引等収益	59,597	60,480
（うちATM受入手数料）	56,588	57,302
その他業務収益	119	125
その他経常収益	114	20
経常費用	42,091	42,381
資金調達費用	501	351
（うち預金利息）	184	89
役務取引等費用	11,577	12,038
（うちATM設置支払手数料）	9,408	9,619
（うちATM支払手数料）	774	849
営業経費	29,940	29,962
その他経常費用	72	29
経常利益	19,110	19,898
特別損失	110	83
固定資産処分損	110	83
税金等調整前中間純利益	19,000	19,814
法人税、住民税及び事業税	6,089	6,755
法人税等調整額	△77	△542
法人税等合計	6,011	6,213
中間純利益	12,989	13,601
非支配株主に帰属する中間純損失（△）	△0	△1
親会社株主に帰属する中間純利益	12,989	13,602

中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当中間連結会計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
中間純利益	12,989	13,601
その他の包括利益	△2,652	△792
その他有価証券評価差額金	△101	103
為替換算調整勘定	△2,563	△903
退職給付に係る調整額	12	7
中間包括利益	10,336	12,808
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	10,339	12,810
非支配株主に係る中間包括利益	△3	△1

(3) 中間連結株主資本等変動計算書

前中間連結会計期間（自平成28年4月1日 至 平成28年9月30日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	30,514	30,496	117,402	△0	178,412
当中間期変動額					
新株の発行	58	58			117
剰余金の配当			△5,359		△5,359
親会社株主に帰属する中間純利益			12,989		12,989
自己株式の取得					—
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）					
当中間期変動額合計	58	58	7,630	—	7,747
当中間期末残高	30,572	30,554	125,032	△0	186,160

	その他の包括利益累計額				新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計			
当期首残高	343	5,462	6	5,812	545	24	184,794
当中間期変動額							
新株の発行							117
剰余金の配当							△5,359
親会社株主に帰属する中間純利益							12,989
自己株式の取得							—
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	△101	△2,560	12	△2,649	△11	△3	△2,664
当中間期変動額合計	△101	△2,560	12	△2,649	△11	△3	5,083
当中間期末残高	241	2,902	18	3,162	533	21	189,878

株式会社セブン銀行（8410） 平成30年3月期 第2四半期（中間期）決算短信（連結）

当中間連結会計期間（自平成29年4月1日 至平成29年9月30日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	30,572	30,554	132,093	△0	193,221
当中間期変動額					
新株の発行					—
剰余金の配当			△5,659		△5,659
親会社株主に帰属する中間純利益			13,602		13,602
自己株式の取得				△380	△380
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）					
当中間期変動額合計	—	—	7,943	△380	7,562
当中間期末残高	30,572	30,554	140,036	△380	200,784

	その他の包括利益累計額				新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計			
当期首残高	217	5,012	73	5,303	533	22	199,081
当中間期変動額							
新株の発行							—
剰余金の配当							△5,659
親会社株主に帰属する中間純利益							13,602
自己株式の取得							△380
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	103	△903	7	△792	—	△1	△794
当中間期変動額合計	103	△903	7	△792	—	△1	6,768
当中間期末残高	320	4,109	81	4,511	533	21	205,850

（4）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

（取締役に対する業績連動型株式報酬制度）

当社は、当中間連結会計期間より、当社の取締役（非業務執行取締役及び海外居住者を除く。以下同じ。）に対して、中長期的に継続した業績向上への貢献意欲をより一層高めることを目的に、役員報酬B I P信託による業績連動型株式報酬制度（以下、「本制度」という。）を導入しております。

当該信託契約に係る会計処理については、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第30号 平成27年3月26日）に準じております。

（1）取引の概要

本制度は、当社が拠出する金銭を原資として当社株式が信託を通じて取得され、取締役に対して、当社が定める取締役株式交付規程に従って、当社株式等が信託を通じて交付される業績連動型の株式報酬制度です。なお、取締役が当社株式等の交付を受ける時期は、原則として取締役の退任時とします。

（2）信託に残存する当社の株式

本信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額（付随費用の金額を除く。）により、純資産の部に自己株式として計上しております。当中間連結会計期間末の当該株式の帳簿価額は278百万円、株式数は656千株であります。

（執行役員に対する業績連動型株式報酬制度）

当社は、当中間連結会計期間より、当社の執行役員（海外居住者を除く。以下同じ。）に対して、中長期的に継続した業績向上への貢献意欲をより一層高めることを目的に、株式付与E S O P信託による業績連動型株式報酬制度（以下、「本制度」という。）を導入しております。

当該信託契約に係る会計処理については、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第30号 平成27年3月26日）を適用しております。

（1）取引の概要

本制度は、当社が拠出する金銭を原資として当社株式が信託を通じて取得され、執行役員に対して、当社が定める執行役員株式交付規程に従って、当社株式等が信託を通じて交付される業績連動型の株式報酬制度です。なお、執行役員が当社株式等の交付を受ける時期は、原則として執行役員の退任時とします。

（2）信託に残存する当社の株式

本信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額（付随費用の金額を除く。）により、純資産の部に自己株式として計上しております。当中間連結会計期間末の当該株式の帳簿価額は101百万円、株式数は239千株であります。

（重要な後発事象）

（第12回無担保社債の発行）

当社は、平成29年9月1日開催の取締役会決議に基づき、国内における一般募集による無担保社債を発行いたしました。その概要は次の通りであります。

1. 社債の名称：株式会社セブン銀行第12回無担保社債
2. 発行総額：300億円
3. 発行年月日：平成29年10月20日
4. 利率：年0.390%
5. 償還方法：満期一括償還（期限前買入消却可）
6. 償還期限：平成39年9月17日
7. 払込金額：各社債の金額100円につき金100円
8. 担保・保証：担保・保証は付さず、また資産は特に留保しない
9. 資金の用途：一般運転資金

2. 中間財務諸表

(1) 中間貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当中間会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
現金預け金	685,766	668,025
有価証券	102,533	94,359
貸出金	19,829	22,078
外国為替	—	0
未収収益	8,816	8,669
A T M仮払金	89,259	147,480
その他資産	1,713	2,255
その他の資産	1,713	2,255
有形固定資産	24,159	20,674
無形固定資産	22,745	24,323
前払年金費用	77	96
繰延税金資産	775	863
貸倒引当金	△30	△32
資産の部合計	955,644	988,795
負債の部		
預金	571,553	615,037
譲渡性預金	800	1,190
コールマネー	10,000	—
借入金	10,000	10,000
社債	110,000	80,000
A T M仮受金	37,763	56,773
その他負債	15,536	16,908
未払法人税等	6,039	7,260
資産除去債務	353	353
その他の負債	9,143	9,294
賞与引当金	388	361
株式給付引当金	—	50
負債の部合計	756,042	780,320
純資産の部		
資本金	30,572	30,572
資本剰余金	30,572	30,572
資本準備金	30,572	30,572
利益剰余金	137,706	146,855
利益準備金	0	0
その他利益剰余金	137,706	146,855
繰越利益剰余金	137,706	146,855
自己株式	△0	△380
株主資本合計	198,851	207,620
その他有価証券評価差額金	217	320
評価・換算差額等合計	217	320
新株予約権	533	533
純資産の部合計	199,602	208,474
負債及び純資産の部合計	955,644	988,795

(2) 中間損益計算書

(単位:百万円)

	前中間会計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当中間会計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
経常収益	56,841	58,186
資金運用収益	1,356	1,645
(うち貸出金利息)	1,291	1,591
(うち有価証券利息配当金)	18	10
役務取引等収益	55,319	56,348
(うちATM受入手数料)	52,326	53,219
その他業務収益	114	125
その他経常収益	50	66
経常費用	36,752	36,679
資金調達費用	496	347
(うち預金利息)	184	89
役務取引等費用	8,665	9,150
(うちATM設置支払手数料)	6,955	7,155
(うちATM支払手数料)	440	480
営業経費	27,526	27,155
その他経常費用	63	25
経常利益	20,089	21,507
特別損失	95	78
固定資産処分損	95	78
税引前中間純利益	19,993	21,429
法人税、住民税及び事業税	6,089	6,754
法人税等調整額	96	△133
法人税等合計	6,185	6,620
中間純利益	13,808	14,808

(3) 中間株主資本等変動計算書

前中間会計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本							自己株式	株主資本合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金					
		資本準備金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他 利益剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計			
当期首残高	30,514	30,514	30,514	0	121,258	121,258	△0	182,286	
当中間期変動額									
新株の発行	58	58	58					117	
剰余金の配当					△5,359	△5,359		△5,359	
中間純利益					13,808	13,808		13,808	
自己株式の取得								-	
株主資本以外の項目 の当中間期変動額 (純額)									
当中間期変動額合計	58	58	58	-	8,448	8,448	-	8,566	
当中間期末残高	30,572	30,572	30,572	0	129,706	129,706	△0	190,852	

	評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
当期首残高	343	343	545	183,174
当中間期変動額				
新株の発行				117
剰余金の配当				△5,359
中間純利益				13,808
自己株式の取得				-
株主資本以外の項目 の当中間期変動額 (純額)	△101	△101	△11	△113
当中間期変動額合計	△101	△101	△11	8,453
当中間期末残高	241	241	533	191,627

株式会社セブン銀行（8410） 平成30年3月期 第2四半期（中間期）決算短信（連結）

当中間会計期間（自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日）

（単位：百万円）

	株主資本							自己株式	株主資本合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金					
		資本準備金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他 利益剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計			
当期首残高	30,572	30,572	30,572	0	137,706	137,706	△0	198,851	
当中間期変動額									
新株の発行								—	
剰余金の配当					△5,659	△5,659		△5,659	
中間純利益					14,808	14,808		14,808	
自己株式の取得							△380	△380	
株主資本以外の項目 の当中間期変動額 (純額)									
当中間期変動額合計	—	—	—	—	9,148	9,148	△380	8,768	
当中間期末残高	30,572	30,572	30,572	0	146,855	146,855	△380	207,620	

	評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
当期首残高	217	217	533	199,602
当中間期変動額				
新株の発行				—
剰余金の配当				△5,659
中間純利益				14,808
自己株式の取得				△380
株主資本以外の項目 の当中間期変動額 (純額)	103	103	—	103
当中間期変動額合計	103	103	—	8,872
当中間期末残高	320	320	533	208,474